三菱自動車、インドネシア「GAIKINDO Auto Week 2026」に出展
また、『エクスフォース』の HEV モデルが「GridOto Award 2026」の Car of the Year を受賞

三菱自動車工業株式会社（以下、三菱自動車）のインドネシア販売会社であるピーティー・ミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・セールス・インドネシアは、11 月 20 日(金)から 29 日(日)までインドネシア・タンゲランで開催される「GAIKINDO Auto Week 2026」*1に「Life's Adventure: Confidence in Every Journey」をテーマとして出展し、『エクスフォース』の HEV モデルをはじめ、『デスティネーター』、『エクスパンダー』、『エクスパンダークロス』、一部改良を施した『パジェロスポーツ』を出品します。

＊1：インドネシア自動車工業会（GAIKINDO）が主催する自動車展示会



『エクスフォース』HEV モデル

なお、『エクスフォース』の HEV モデルは、「GridOto Awards 2026」*2において、「Car of the Year 2026」をはじめ「Best Small SUV」、「Best Hybrid Car」の 3 部門を受賞しました。インドネシア市場のお客様の声を反映した継続的な商品改良に加え、実用性の高いハイブリッドシステム、優れた燃費性能、快適な走行性能、SUV としての高い走破性、充実した安全・快適装備などが高く評価されました。今回の受賞は、2016 年の『パジェロスポーツ』、2018 年の『エクスパンダー』、2025 年の『デスティネーター』に続き、三菱車として 4 度目、そして 2 年連続の「Car of the Year」受賞となります。

三菱自動車は今後も、重要市場であるインドネシアにおいて、お客様のニーズに応える魅力的な商品とサービスを提供し、豊かなモビリティライフの実現に貢献していきます。

＊2：インドネシア最大のメディアグループである Kompas Gramedia Group 傘下の自動車専門メディア「GridOto」が主催するアワード。2026 年は 44 車種を対象に、デザイン、装備、走行性能、エネルギー効率、価格、居住性、新規性などの観点から審査・選考を実施

三菱自動車について
三菱自動車は、ラリー活動で培った四輪制御技術と、長年にわたり蓄積してきた電動車開発の知見を有する自動車メーカーです。ルノー・日産アライアンスの一員として、日本およびアセアン諸国に生産拠点を持ち、グローバルで約 28,000 名の従業員が働いています。プラグインハイブリッド EV の『アウトランダーPHEV』、ピックアップトラック『トライトン』、軽自動車『デリカミニ』など、あらゆる路面状況や使用環境に対応可能な商品ラインアップを通じて、お客様の冒険心を喚起し、心豊かなモビリティライフを提供することを目指しています。三菱自動車は、鍛え上げた四輪制御技術や電動化技術を活かした「三菱自動車らしい」個性的な商品を創出すべく、技術をさらに磨き上げ、真摯にクルマづくりに向き合い、引き続きお客様にワクワクするようなモビリティライフをお届けしてまいります。詳細については、当社ホームページをご覧ください。

https://www.mitsubishi-motors.com/jp/company/information/index.html